

## 生産現場から

### きちんと検査し、情報発信!

(福島県郡山市 水稲・野菜・種苗生産者)

福島県で100~200種類の野菜を作っています。原発事故直後に比べ、今は多くの検査機器が県内に導入され、ほとんどの種類が検査できるようになりました。

生産物を検査して安全を確認することはもちろん、その結果をきちんと伝えるのが重要だということを、震災後の販売活動を通じて強く感じ、情報発信に力を入れています。



### 安全な飼料で、安全な牛乳作りを

(栃木県那須郡 酪農家)

2011年は牧草が原発事故で汚染されたため、輸入牧草を購入しなければなりませんでした。その後、畑にカリウムが不足しないよう肥料をまいたり、土を起こしたりして、放射性物質の低減に取り組んだところ、デントコーン(飼料)は基準を満たすようになりました。今後もみんなでこうした取組を続けていきます。

もっと知りたい方のための

## Q&A

### Q

水産物ではどんな対策をとっているのですか?

### A

主な水産物では、原則毎週1回、放射性セシウムの検査を行っています。基準値を超える放射性セシウムを含む可能性の高いものについては特に検査を強化したり、魚の回遊状況をもとに検査を行う場所を決めたりしています。

基準値を超えた場合には、その地域で同じ種類の水産物は出荷しない、地域の漁を自粛するなど、基準値を超える放射性セシウムを含む水産物が市場に出回らないようにしています。

また、検査結果の公表や、漁獲水域・原産地の表示など、わかりやすい情報提供にも取り組んでいます。

調査結果や出荷制限などの情報は、国や都道府県のホームページですべて公表されています。

もっと詳しい情報は、  
農林水産省ホームページ  
「食べものと放射性物質のはなし」へ

放射性物質のはなし

検索



バーコード読み取り  
機能付き携帯電話で  
ご利用できます。



あらためて、おはなしさせてください。

# 食べものと 放射性物質の はなし

その3

生産現場の取組



つくと、たべるを、ささえる。まもる。



農林水産省  
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries



消費者庁  
Consumer Affairs Agency, Government of Japan



食品安全委員会  
Food Safety Commission of Japan



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

